

# みどりみらい ふたたび ぐんじとしのりから皆様へ

2011/02/27 Vol.1 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

「私は元気です。」 この一言を皆様にお伝えするのに長い時間がかかりました。

2007年4月の千葉県議会議員選挙より長い時間が過ぎました。

現職として望んだ県議会選挙でしたが、皆様からいただきましたご支援に充分応えることもできずに、私は落選し下野しました。ご期待に沿えず、申し訳ございませんでした。

下野して4年になります。一市民として、県政を、市政をこの間、見つめてまいりました。

4年前と比べて、この街は住みやすくなったでしょうか。市民の声は行政に伝わり、行政の考えは、議会の考え方は私達に十分に伝わってきているのでしょうか？

私は今、会社員として「印西牧の原」からの通勤定期券を持って毎日、東京に通っています。

日々、通勤をしながら考えています。

北総鉄道の高運賃問題は何も解消されていません。

私が4年前に掲げた「病院の誘致」に至ってはいまだに建設すら始まっていない状況です。

広くなった印西市の行政は何を考えているのか？

議員は十分に働いてきましたか？4年前の公約に対して、十分な成果は出していますか？

選挙前だけ、駅頭でのパフォーマンスを行い、そのあとは知らんぷり。

新人として立候補を考えている人たちは何を今まで実績として積み上げ、何を訴えているのか？

その場限りのお願いではありませんか？

今、私が知りたい情報は調べないと知ることはできず、その情報でさえ、充分ではありません。

この街は、私達の望んでいる街に近づいているのでしょうか。

4月に控える「統一地方選挙」多くの方々から、お電話やメール等でさまざまなご意見やご要望、そしてご批判をいただき、心から感謝いたします。この紙面を借りて改めて御礼を申し上げます。

今、もう一度この街の問題点を洗い出し、整理して私達一人一人の生活の向上を考えてみようか。私はもういちど、初心に帰って歩みを進めてみようかと考え始めています。

白いキャンパスに皆様と絵筆を落としたのは12年前のことでした。

そして、許されるのであれば、もう一度、止めていた絵筆を動かそうかと思っています。

(各位へ 深くお詫びを兼ねて)

前回の選挙後、私を支持してくれた、皆様に対して、御礼のご挨拶をしたかったのですが、現在の公職選挙法では、あいさつ行為にも制限が加えられて、御礼のご挨拶ができない状況になっております。申し訳ございませんでした。

# みどりみらい ふたたび

この街に初めて降り立ったのは、平成7年11月のことでした。  
当時、川崎市麻生区の新百合ヶ丘に住んでいた私は、  
会社を変ったばかりで遅くまで残業し、朝早く出勤して行く。  
朝の通勤時、当時の朝日ジャーナルに「牛車よりも遅い」と書かれた満員電車の  
小田急線に揺られ、日本橋まで通うという毎日の通勤に疲れ、一念発起して  
通勤がラクな場所にマンションを買おうと決意しました。

選択肢はいくつかありましたが、最後に残ったのは  
港北ニュータウンと千葉ニュータウンでした。

私の実家は、東京都足立区にあります。  
子どもの頃には、北千住から成田線を使って木下、小林を経由し、成田山新勝寺に初詣。  
北総開発鉄道は、私が小さい頃に開通し、松戸から白井まで運転され、鉄道少年だった私は  
千葉ニュータウンに将来の鉄道路線と自分の将来を重ねて、夢を見ていたのは紛れもない事実です。

横浜には憧れがありました。港北ニュータウンという街があります。  
私が住んでいた「新百合ヶ丘」から車で30分。山を切り開き、開発が進んでいました。  
その街では、あつというまに開発がすすみ、何もなかったところに、街としての機能が驚くほど  
整備され、地下鉄はもとより、レストラン、大型スーパー、映画館、デパートと、  
そして「観覧車」まで「出現」しました。

憧れは港町「横浜／桜木町」 みなとみらい地区。  
三菱重工があったこの場所で、横浜博覧会が開催され、終了してから、あつというまにわずか、  
10年で開発が進み、現在では日本一高いビル（ランドマークタワー）が立っています。

翻って、千葉ニュータウン。平成15年3月。私はこの地にかつて私が住んでいた新百合ヶ丘を  
重ねます。今でこそ新百合ヶ丘の駅前には大規模な商業施設が並び、ホテルもレストランも  
映画館もありますが、平成7年11月、私が住んでいた当時はやっと駅前に商業施設が立ち並び  
はじめた時代でした。

千葉ニュータウン事業が始まり、はや30余年。千葉ニュータウン中央駅。印西牧の原駅。  
東京と成田を結ぶ この地に 横浜／みなとみらい に負けない街をつくっていく。  
きっと変わるこの街に みどりあふれるみらい をつくっていく。。。。。

(平成15年に書いた文章より)

みどりあふれるみらい、みどりみらい。こんなあまりにも単純な思いで、私自身の市議会報告の  
タイトルに「みどりみらい」をつけて皆様に配布を始めました。

「みどりみらい」1号は、皆様に推され市議会議員となった1999年5月6日より発行を始め、  
配布枚数、配布エリアを広げ、市議会議員として約7年半の間に通算225号まで発行させて  
いただきました。

「みどりみらい ふたたび」何号まで発行でき、どこまで皆様に配布できるかはわかりませんが、  
私の思いを一人でも多くの皆様にお伝えし、明日の印西市を皆様と語りあえればと思います。

ぐんじ としのり  
(元 印西市市議会議員、前 県議会議員 (印西市選挙区))